

## シラバス

科目名	ソーシャルワーク論Ⅵ		
担当教員			
配当年次	3年次	開講時期	2学期
単位区分	選択	単位区分補足	
授業形態	講義	単位数	2単位
準備事項			
備考			

### 【授業のねらい】

- ・社会福祉士として多様化・複雑化する課題に対応するため、より実践的かつ効果的なソーシャルワークの様々な理論と方法を理解する。
- ・支援を必要とする人との援助関係の形成やニーズの掘り起こしを行うための、知識と技術について理解する。
- ・社会資源の活用の意義を踏まえ、地域における社会資源の開発やソーシャルアクションについて理解する。
- ・個別の事例の具体的な解決策及び事例の共通性や一般性を見出すための、事例分析の意義や方法を理解する。

### 【授業の展開計画】

1. ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発の意義と目的
2. ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発の方法と留意点
3. ソーシャルワークにおけるソーシャルアクションの意義、目的、方法。
4. カンファレンスの意義と目的
5. カンファレンスの運営と展開
6. 事例分析の意義と目的
7. 事例分析の方法と留意点
8. 事例検討、事例研究の意義と目的
9. 事例検討、事例研究の方法と留意点
10. ソーシャルワークに関連する方法：ネゴシエーションの意義と目的
11. ソーシャルワークに関連する方法：ネゴシエーションの方法と留意点
12. ソーシャルワークに関連する方法：ファシリテーションの意義と方法
13. ソーシャルワークに関連する方法：ファシリテーションの方法と留意点
14. ソーシャルワークに関連する方法：プレゼンテーションの意義と目的
15. ソーシャルワークに関連する方法：プレゼンテーションの方法と留意点

### 【履修上の注意事項】

- ・事前に次回の講義内容に該当するテキスト部分を読んでおくこと。また、わからない用語については調べておくこと（120分）
- ・事後には講義内容を配布資料やテキストをもとに復習し、必要に応じて講義内にて提示される課題に取り組むこと（120分）

### 【評価方法】

試験 80%，課題レポート 20%により評価する。

### 【テキスト】

一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編『ソーシャルワークの理論と方法（専門）』中央法規出版（2020年12月刊行予定）

### 【参考文献】

- ・一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編『ソーシャルワークの基盤と専門職』中央法規出版
- ・その他については講義内にて適宜紹介する。